

**大学発新産業創出プログラム 社会還元加速プログラム(SCORE) チーム推進型
事後評価結果**

研究開発課題名:	フラビウイルス共通のエンベロープ糖蛋白質第 3 ドメイン (ED3)の変異型配列ライブラリーを用いた新型フラビウイルス検出法的高速開発
研究担当者(所属・役職・氏名)	東京農工大学 大学院工学研究院 教授 黒田 裕

1. SCORE での活動目的

フラビウイルス(デング熱、ジカ熱、日本脳炎等)が共通に持つエンベロープ糖蛋白質第 3 ドメイン (ED3; MW=11kDa)は、抗フラビウイルスの安価で安全なワクチン候補領域である。本研究の目的は、将来起きる突然変異を情報科学的に予測した変異型 ED3 の配列のライブラリー(以下、変異型 ED3 ライブラリー)を構築し、当該ライブラリーを利用することにより、将来登場する変異型フラビウイルスのワクチンの開発を高速化することを目的とする。さらに、上記で独自開発した技術を用いたビジネスモデル仮説を策定するとともに、顧客ヒアリングを進め、ビジネスモデルの実現・高度化を図る。

2. 総合所見

現存しないウイルス検知の必要性について顧客候補にヒアリングを行い、検出キットではなくワクチン基盤技術としての応用に高いニーズを見出して、ビジネスモデルを確実にブラッシュアップした点を評価する。技術シーズを基にした応用研究の推進や経営人材とのチームアップを進め、事業化を実現することに期待する。

以上